

# シュクメルリから父を想う

竹本 百代

先日のジョージアの話（下の2番目の新聞記事）  
 実は私の父はシベリア抑留から帰った人なんです。  
 しかも抑留されたところが今のジョージアだったんです。  
 シベリア抑留という過酷な状況の中での労働や扱いを思い浮かべますが、父から聞かされた抑留時の話は楽しかった!!話ばかりなのでした。陸軍兵器学校というところを卒業し、19、20歳くらいで召集され、一つ前の船に乗っていたら沈んでいたと言っていました。  
 満州からシベリア鉄道に乗っていき、着いた先が今のジョージア辺り。若くて痩せていた父はかわいそうにと他の人に内緒でたくさん食事ももらったとか…戦車から通信機器までなんでも修理できたのでとても可愛がられたと言っていました。女の人は皆金髪で綺麗で食べ物は美味しかったとも言っていました。  
 そんなシベリア抑留もあったのです。知られていませんが。  
 ジョージアと聞いてすぐに父の顔が浮かびました。



原野 昇の Facebook (2021.3.7)  
 広島大学マスタース会員、角谷哲司先生が蒔かれた小さな種により、ヒロシマの記憶が日本を越えて次の世代へと大きく引き継がれていっています。  
 奇跡的な出会いも、先生ご夫妻の日頃の誠実な生き方からこそ生まれたもので、敬服の至りです。

# SNSで話題 ジョージア外交官レジャバさん

## 「私は広島人」8・6式典へ



角谷さん（左端）と交流するレジャバさん一家（1993年10月）

### 約30年前東広島で生活4年

「シユクメルリ」というジョージアの伝統料理を牛丼チェーン店で食べて絶賛する姿がツイッターで話題の同国の駐日臨時代理大使ティムラズ・レジャバさん(32)。実は幼いころ東広島市に住んだことがあり、自らを「広島人」と呼ぶ。今夏、平和記念式典に初参列を予定する。当時の暮らしを支えてくれた「恩人」から聞いた原爆の体験を胸に「平和を紡ぐ責任がある」と語る。

(高本友子)

## 恩人の「あの日の記憶」胸に



レジャバさん

欧州とアジアの境に位置するジョージア。レジャバさんは巧みな日本語と庶民的な店で食事をする姿が評判でツイッターのフォロワー数は4万1千人。駐日大使の中でトップだ。

「広島人です」。2月、レジャバさんがツイッターでつぶやいた。父アレキサンダー・レジャバさんが広島大（東広島市）に留学したのを機に、4歳から8歳まで同市で過ごしたという。



あなご竹輪 いずの

産婦人科を開業していた角谷哲司さん(88)だ。遭伝学の研究者でもあった角谷さんは84年、同じ研究者だったレジャバさんの祖父と会い、アレキサンダーさんの留学の手助けを頼

来日は「奇跡のような」縁だった。旧ソ連から1991年に独立したジョージアはその前後から混乱を極めていた。当時、日本とは国交がなく、電話も通じず手紙も送れなかった。その中でアレキサンダーさんの留学に尽力したのが同市で



85年、角谷さんが旧東ドイツの学会に向かっている時、奇跡は起きた。飛行機の隣席にジョージアの首都トビリシに向かう広島大の教授が座った。角谷さんはその教授に名刺を渡し、レジャバさん一家への連絡を頼み込んだ。やとと留学の手続きが進展。一家の運命が大きく変わったという。

8月6日の式典へ参列したいのは、角谷さんにあの日の体験を聞いてからだ。旧制広島一中（現国泰寺高）2年だった角谷さんは学徒動員で広島市中心部に行くはずだった。しかし急きよ休みになり、生き延びた。レジャバさんは「来日できたのは奇跡が重なった

から」と改めて実感したという。そして自分に「平和を紡ぐ責任がある」とも。式典には国の代表として初めて参列したいと願う。「平和な時にこそ私たちは努力すべき。広島での悲惨な出来事もほんの76年前のこと。歴史の学はない」と

### 【つぶやけノボルのつぶやき】

記事、読ませていただきました。徳島の坂東ドイツ人捕虜収容所の人道的扱いはつとに有名ですが、松山のロシア人捕虜収容所のそれはそれほど知られていないかも知れません。しかし、日本の捕虜になったロシア人が、同じ収容所に入れられるなら「マツヤマ！マツヤマ！」と叫んだと言われるくらい、人道的扱いが知れ渡っていたようです。そのロシア兵の中にジョージア（グルジア）出身者が多くいて、そのおかげでジョージアで日本人が歓迎されたのですね。

先年、坊ちゃん劇場（愛媛県東温市）で、松山のロシア人捕虜収容所をテーマにしたミュージカル「誓いのコイン」を見ました。

<http://www.botchan.co.jp/coin2/>

広島の似島にあったドイツ人捕虜収容所での扱いも人道的であったと言われてい  
ます。バウムクーヘンが日本で初めて紹介されたのも広島においてでした。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/kouhou/weekly-topic-detail.html?d=20190222&n=2>

またウズベキスタンの首都タシケントにあるナヴォイ劇場は、シベリアから送られた日本人がその建設に関わりました。大地震にも耐えた本体工事にも日本人が大いに貢献したと言われていますが、内部のしっくい壁に施された素晴らしい装飾は、日本人（召集された兵士）の鍔さばきによるものと言われてい  
ます。先年現物を見てきましたが芸術作品そのものでした。その日本人たちのウズベキスタ  
ンでの待遇も悪くなかったと言われてい  
ます。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/ナヴォイ劇場>

下の写真は原野昇撮影（2019.9.9）





